

釧路赤十字病院を受診する患者様へ

「下肢シーネ固定に伴う MDRPU 発生要因の実態調査」についてのご説明

1. 研究の背景

一般病院の皮膚トラブルに関連した最も多い医療関連機器はギプス・シーネとされています。実際に当病院でもシーネ固定をしている患者さんに皮膚トラブルが発生している現状にあります。今回、過去に当病院の整形外科に入院し、シーネ固定をしていた患者さんの実態調査を行い、得られたデータから皮膚トラブルの発生要因についての検討を致します。

2. 研究の目的

この研究の目的は、当病院の整形外科に入院しシーネ固定をしていた患者さんの特徴を調べることにあります。

3. 研究の方法・期間

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。取得した情報を分析し、シーネ固定をしていた患者さんの特徴についての検討を行います。収集するデータは 2013 年から 2022 年に当院整形外科病棟に入院し下肢シーネ固定をしていた患者さんを対象としています。

【取得する情報】

- 患者情報：年齢、性別、身長、体重、日常生活自立度、骨折部位、骨突出の有無、皮膚湿潤の有無、浮腫の有無、糖尿病の既往、プレドニン内服の有無、栄養状態、皮膚状態、皮膚感覚・知覚、認知機能の低下の有無、麻痺の有無、皮膚トラブルおよび医療機器関連圧迫創傷の有無、免疫抑制剤内服の有無
- 機器情報：シーネの長さ、シーネの固定期間
- ケアに関する情報：皮膚観察の頻度、保清状況、スキンケア情報、外力低減ケア実施有無
- その他：皮膚トラブルを発見した時間帯、季節
-

4. 本研究の対象となる人数

2013 年から 2022 年に当院整形外科病棟に入院し下肢シーネ固定をしていた患者さんを対象としており約 100 事例程度を対象としています。

5. 予想される利益および不利益となる事項について

予想される利益としては、皮膚トラブルが発生しやすい患者さんの特徴や不足してい

たケアを明らかにすることで今後より効果的に下肢シーネによる皮膚トラブルの発生予防に関するケアを検討出来るようになります。

過去のデータ収集となるため新たに不利益は生じないと考えます。

6. 研究への参加について

この研究に参加したことによって患者さんに謝礼をお支払いすることはありません。研究の対象者となることを希望されない方又は研究対象者のご家族等の代理人の方は、研究代表者又は共同研究者までご連絡ください。

ただし、あなたが研究参加を取りやめたいと思った時点で、既に研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることが出来なくなります。

7. 患者さんの費用負担について

患者さんの費用負担はありません。

8. 患者さんの個人情報の保護について

研究結果は、集計・評価し、研究として院内及び院外で発表する予定ですが、研究で得られた情報は、個人が特定出来ないように患者さんのお名前を数値化して管理しますので、個人情報は常に保護されます。研究責任者は患者さんの情報や資料を保管する時は、情報等の漏洩、盗難、紛失等が起こらないよう必要な管理を行います。分析終了後、データは破棄し、プライバシーの保護に努めます。

9. 利益相反について

研究結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。

10. 研究代表者、共同研究者について

- 研究代表者

本間 翔平（釧路赤十字病院 3A 病棟看護師）

- 共同研究者

藤川 可緒里（釧路赤十字病院 3A 病棟看護師）

石戸谷 理恵（釧路赤十字病院 3A 病棟看護師）

鎌田 さよ（釧路赤十字病院 外来看護係長 皮膚排泄ケア認定看護師）

11. 相談窓口

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮無くご相談下さ

い。

- 連絡先 電話 0154-22-7171
- 研究責任者 3A病棟看護師 本間翔平